長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	２
使用教科書	「新高等学校　現代文Ｂ」　（明治書院）						
副教材等	「みるみる実力アップ現代文２」　（第一学習社） 「カラー版新国語便覧」　（第一学習社）　「常用漢字ダブルクリア」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ

・２年では１年生で学んだ基礎的な国語の力を使って自分の意見をまとめたり、発表したりできる力を身に付けましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を的確に理解し，適切に表現する能力を高めるとともに，ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，自己の言語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。具体的には次の通り。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして，自分の考えを深め，発展させている。	適切な表現による文章を書き、読み手に伝わる文章を書いている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり，目的に応じて幅広く読んだりして，自分の考えを深め，発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	随想を読みそこに描かれた内容を的確に捉える。 教材:「詩を翻訳する少年」	○			◎	○	a:作者の考えを理解しようとしている。 d:筆者の近代詩や万葉集の英訳という体験から得た日本語への思いを読みとる。 e:課題に応じて適切な方法で情報を収集している。	a:行動の観察及び記述の点検 de:記述の確認及び定期考査
	小説	小説世界を読み味わいながら，登場人物の描写を的確に捉える。小説の虚構性を通して人間とは何かについて。 教材:「山月記」 ワークシート	○	◎		○	○	a:登場人物の性格、行動について的確に読み取り、人間についての考えを含める。 bd:文学的文章を読んで考えたことを観点を明らかにしたり、根拠を示したりしながら述べるとともに、相手の考えや根拠を的確に聞き取っている。また、話し合いを通して、作品をより理解している。 e:小説における「変身」の意味、位置づけについて理解している。	ab:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
	評論	評論を読み、筆者の意図を的確に捉える。 教材:「幸福について」 ワークシート	○			◎	○	a:　作者の考えを理解しようとしている。 d:評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。筆者のノベル幸福について理解する。 e:各自の問題として、幸福というものについての考えを深める。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
	評論	教材:「愛づる―時間を見つめる」 ワークシート	○	◎		◎	○	a:作者の考えを理解しようとしている。 b:筆者の主張を身近な問題としてとらえ、自分の考えを持ち、話し合っている。 de:評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。「愛づる」の意味を、「姫君」の話から正しくつかむ。副題「時間をみつめる」の意味を、全体を通して読み解く。	ab:行動の観察と確認 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査

2学期	詩歌	詩、短歌、俳句を読み、それぞれの表現の特色を理解し、自分の表現に役立てる。 それぞれの形式やリズムに注意して詩歌を読み、そこに描かれた世界を味わう。 教材:「永訣の朝」 ワークシート	○		○	◎	○	ac:「いもうと」「わたくし」「雪」などの描写から、「いもうと」の死を前にした「わたくし」の思いを的確に読み取る。 de:詩の主題について適切に話し合い、理解を深めている。定期考査	ac:行動の観察及び記述の点検 de:記述の確認及び定期考査
	詩歌	詩、短歌、俳句を読み、それぞれの表現の特色を理解し、自分の表現に役立てる。 それぞれの形式やリズムに注意して詩歌を読み、そこに描かれた世界を味わう。 教材:「風がきてささやくやうに」 ワークシート	○		◎	◎	○	ac:それぞれの歌の情景や心情について、的確に読み取り、適切に話し合い、考えを深めている。 d:印象に残った歌のどのような点にひかれたかを的確に文章にまとめている。 e:語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。	ac:行動の観察及び記述の点検 de:記述の確認及び定期考査
	小説	小説を読み、登場人物・情景・心理などの描写を的確に捉えて味わう。 作者の人間造形を通して人生への関心を高め、自己形成に資する。 教材:「こころ」 ワークシート	○			◎	○	a:登場人物の性格、行動について的確に読み取り、人間について考えを深めている。 de:文学的文章から読み取ったことを、観点を明らかにしたり、根拠を示しながら述べるとともに、相手の話を的確に聞き取っている。人間のあり方について問題意識を深め、登場人物の生き方について話し合う。	a:行動の観察及び記述の点検 de: 記述の確認及び定期考査
	評論	評論を読み、筆者の意図を的確に捉える。 教材:「コンコルドの誤り」 ワークシート	○			○	○	a:評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 de:具体例や対比の表現などから筆者の主張をとらえる。本文で述べられている筆者の考えについて話し合い、考えを深めている。	ac:行動の観察及び記述の点検 de:記述の確認及び定期考査

3学期	評論	評論を読み、そこに提示された問題について自分の意見を表現する。 教材:「『間』の感覚」ワークシート	○	◎		◎	○	ab:文化の独自性と相互の差異について比較文化論の観点から認識を深めている。 de:筆者の考えを踏まえ、自分の考えを文章にまとめている。日本人の行動様式を「間」の感覚の特性からとらえる。	ab:行動の観察及び記述の点検 de:記述の確認と分析及び定期考査
	小説	小説を読み、そこに描かれた人間・社会について表現に即して理解する。 教材:「赤い繭」ワークシート	○	◎			◎	ab:短編小説の構成、構造の特徴をつかむ。 e:現実を超えた出来事で、筆者が提示した問題をつかむ。	ab:行動の観察及び記述の点検 e:記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。